

今年、図書館で購入している新聞・雑誌を紹介します。雑誌はバックナンバー、新しい号が出たら古いものを貸出できます。新聞は3か月保存しますので保存中は読めます。請求してください。必要なところがあればコピーします。

## 図書館にある雑誌・新聞



★雑誌（年間購読）……10誌

〈週刊〉AERA

〈隔週刊〉スポーツグラフィックNumber・オレンジページ

〈月刊〉新聞ダイジェスト・蛍雪時代

Newton・ノンノ・アニメージュ

日経エンタテインメント

★新聞……7紙

朝日・読売・毎日・東京・日本経済新聞の朝夕刊、産経新聞

The Japan Times Alpha（英字新聞・週刊）

\*東校舎\*

Newsがわかる

子供の科学

高校への数学

## 6 / 14(水)～19(月) 図書委員が蔵書点検を行います

蔵書点検は図書館の蔵書を一冊ずつ点検、所在を確認し、書架整理・清掃を行うものです。作業は開館しながら行います。点検中は音が出ます。なお、13日(火)から準備のため、点検を開始する場合があります。ご協力よろしくお願いします。★★貸出期限の過ぎている本は至急返却してください。



## 今月の新着図書Pickup!

### 『体はゆくできるを科学する〈テクノロジー×身体〉』

伊藤亜紗 文藝春秋

人文社会系研究者の著者が共同研究するなどした「五名の科学者／エンジニアとの対話を通して」「理工系の現在進行形の研究成果を参照しながら、『テクノロジーの力を借りて何かができるようになる』」について考えた本です。

第一章に登場するのは「ピアニストが芸術に集中できるように、土台となる体の使い方を支えたい」と研究する科学者、自身もピアニストです。その研究のひとつを簡単に紹介すると、手にはめるエクソスケルトンはグローブ型の外骨格で伸縮機構にモーターがついて指が勝手に動き出します。特定の演奏者の指の動きを別の人の手に出力することが可能でプロの指の動きを体験することができる、というものです。何のためにかはぜひ本を読んでいただきたいのですが、こんなことができるのか、と驚いてしまいました。そのほかの研究も知らないことばかりで非常に刺激的な本でした。また、「能力主義から『できる』を取り戻す」ことを考えさせられます。

### 『お探し物は図書室まで』青山美智子 ポプラ文庫

昨年の本屋大賞第2位の小説です。仕事や人生に悩む5人が図書室レファレンスコーナーの司書に、探している本のリストと付録を渡されます。そのリストには思いもよらない本が入っています。その本と付録の出会いからそれぞれが悩みを解消していく。読んでいる自分も前向きになれる話でした。本を読んで、さらに本を探すのは図書館での楽しみのひとつです。その思いもよらない5冊を紹介します。

(この本と④以外の請求記号等は前号参照)

- ①『ぐりとぐら』
- ②『英国王立園芸協会とたのしむ植物のふしぎ』
- ③『月のとびら』
- ④『ビジュアル 進化の記録 ダーウィンたちの見た世界』ジョセフ・ウォレス ポプラ社〈467-ク〉
- ⑤『げんげと蛙』

また、レファレンスはみなさんが探究論文などに必要な情報・資料の検索方法やどこで所蔵しているかを案内するサービスです。本校でも活用してください。